

“ミガキ”しながらコーティング(ガラス系)が**出来る!**

YES YOU CAN!

コーティング後のメンテナンスに

PLUS

HV・+ 滑水

ポリッシャーで磨きこむと
モチ肌感と艶々感が
あふれんばかりに
仕上がります。



こんな場面どうぞ!

- ★ 経年式車を + α (ガラス系コーティング施工車)
- ★ 手間をかけず見栄えを良くしたい!
- ★ 磨き行程の最終仕上げにベスト!
- ★ イオンテポジットが取れる!

施工前

撥油(廃油)

撥水

施工後

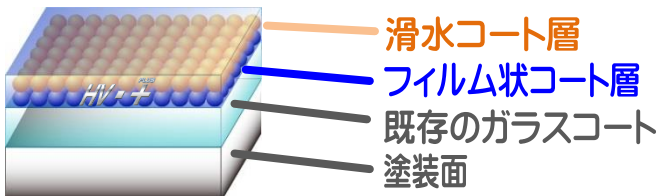
撥油(廃油)

撥水



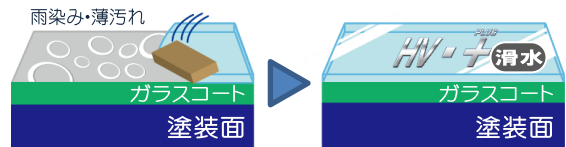
アルミホイールにも最適

HV・+ 滑水 は、滑水コート層とフィルム状コート層のハイブリッド構造



滑水コート層が汚れを雨とともに洗い流し、フィルム状になるコート層がガラスコート層を守ります。(画像はイメージです)

HV・+ 滑水 は、ここが違います



雨染み、水滴痕、薄汚れを除去しつつ、保護コーティングまで**1つの工程**で完了!

その訳は?

軟

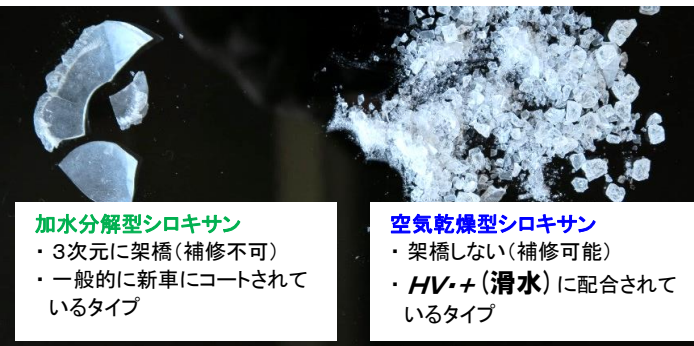
雨染み

硬

ガラスコート

「HV・+(滑水)」は雨染みより硬く、ガラスコートより軟らかい研磨剤を配合していますので、ガラスコートを傷つけることなく雨染みや汚れを除去することができます。同時に塗布される保護コートは無機物なので、劣化しにくく防汚性・耐久性に優れます。

HV・+ 滑水 が、ガラスコートの補修に最適なワケ



加水分解型シロキサン

- ・3次元に架橋(補修不可)
- ・一般的に新車にコートされているタイプ

空気乾燥型シロキサン

- ・架橋しない(補修可能)
- ・HV・+(滑水)に配合されているタイプ

一般的に新車のボディガラスコートと言えば、「加水分解型シロキサン」等が主原料です。これは近接した分子同士が**施工時にのみ**3次元に架橋(しっかり手をつないだ状態)しますので、剥がしてしまわないと補修できません。

対してHV・+(滑水)に配合される「空気乾燥型シロキサン」は架橋しないので定着しやすく、薄くなってしまった「加水分解型シロキサン」のコート面にも相性が良く、ガラスコートの補修に最適なのです。

#06567 HV・+(滑水) (ハイブリッドプラス) 200ml (1ケース6本入)



Professional **BULLCLEAN**®

当社のコーティング剤は、自社開発・製造品です。製造・開発:株式会社 ホーライ

名古屋出張所:愛知県春日井市八田町3-16-6 TEL:0568-85-3288

コーティング後のメンテナンス **HV・+** PLUS **滑水** 施工方法

1 用意するもの



※ 使用するマイクロファイバークロス、マイクロセームは、「HV・+ (滑水)」の施工専用としてお使いください。他製品と混用すると効果が発揮できません。



施工用不織布
1~5枚



水で濡らし固く絞った
マイクロセームを1枚

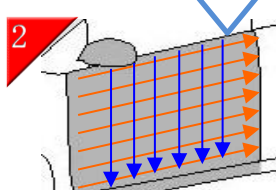


乾いたマイクロセーム
を1枚

2 HV・+ (滑水) の作業方法



1 HV・+ (滑水) を不織布に2~3滴取り
60cm四方を目安に塗り延ばす。



- ① 不織布※をハンカチ大に4つ折りにしHV・+ (滑水) を2~3滴取ります。
- ② HV・+ (滑水) を取った不織布で液を延ばしてください。
(ボンネットなら1/4、ドア、フェンダー等は1パネル毎に作業してください。)
- ③ 水で湿らせ固く絞ったマイクロセームで、速やかにHV・+ (滑水) を拭き取ってください。
- ④ その後、「必ず」乾いたマイクロセームで乾拭きをして仕上げてください。
次の場所を①から繰り返してください。

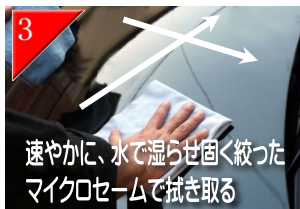
※ 簡単に作業をする場合は、不織布の代わりにマイクロセームを使用してください。

マイクロセームで新しい面を使用する時は、4~6滴取って下さい。その後は、60cm四方に対して2~3滴で十分です。
塗布量が多いとムラの原因になります。

※ HV・+ (滑水) を塗布した不織布は2~3パネル毎に新しい面に折り直して作業を進めてください。同じ面を使用し続けると「HV・+ (滑水)」が固まり塗装面を傷つける場合がありますので十分に注意して作業を行ってください。



4 乾いたマイクロセームで仕上げる



3 速やかに、水で湿らせ固く絞った
マイクロセームで拭き取る

マイクロセームの使用例



① 水でベタベタに濡らし固く絞ったマイクロセームを上のように持ちます。



② 液を適量30cm四方ずつ縦横に液が薄くなるまで押さえる様に刷り込みます。



③ 乾いたマイクロセームで拭き上げて完成

注意・基材の状態により効果が得られない場合もあります。あらかじめご了承ください。

・基材が50℃以上ある場合は、基材を冷やしてご使用ください(固着する場合があります)。

3 【ダブル(ギア)アクションポリッシャーでの使用例】



① 土汚れや鉄粉を除去して下さい。水分は拭き上げます。



② スポンジに少量付け(塗装面40~60cm四方に対し小指の爪半分ほど)、水をほんの少量スプレーする。



③ 縦横30cm四方ずつ丁寧に磨いていきます。※工程が進んでいくとバフスポンジ面に研磨成分がたまっていきますので量を調整しながら進んでください。



④ 水でベタベタに濡らし固く絞ったマイクロファイバークロスに「HV-coat F」などをスプレーし塗り延ばす。



⑤ 乾いたマイクロセームで乾拭きする。



⑥ 最終仕上げは、水で湿らせたマイクロファイバークロスで塗装面を拭き水分が蒸発してくる所を乾いたマイクロセームで乾拭き。

「艶」が足りない場合は、再度②から作業を繰り返して下さい。

⚠ 注意事項

- ① 親水性・低撥水性のコート面への施工は撥水性に変化しますのでご注意ください。
- ② 施工面に鉄粉が付いている場合は、あらかじめ鉄粉除去剤やメンテナンスバフ等を使用し除去しておくとお効果的です。
- ③ 施工面にひどく水垢が付いている場合は、あらかじめ除去しておくとお効果的です。(少量ならHV・+ (滑水) にて除去出来ます。)
- ④ 施工面に小キズが多い場合は、ノンシリコン研磨剤等でポリッシングし平滑化すると効果的です。
- ⑤ 施工後は強いアルカリ・酸性の洗剤の使用は避けてください。
- ⑥ 使用するクロス等はHV・+ (滑水) 施工専用としてください。
- ⑦ 使用したスポンジ、マイクロファイバークロス、マイクロセームはシリコン分を含まない中性洗剤で洗い、日陰で乾燥させてください。
- ⑧ 高温・直射日光下での作業は出来る限り避けてください。
- ⑨ 水道水・地下水(井戸水)をお使いになった場合、乾燥するまでに確実に拭き取ってください。(水滴を放置すると水道水・地下水の中のカルキ分、ミネラル分が塗装面に残留する場合があります)
- ⑩ 子供の手の届かないところに保管してください。
- ⑪ 摂氏0度以上~40度の所に保管してください。
- ⑫ 自動車のトランク、車内での保管は避けてください。